

鹿児島県ふるさと雇用再生特別基金事業

46ジンジャエールで、ヨロンに、日本に、「エール(声援)」を届けたい!

与論でもおなじみとなりつつある、島内産の生姜を使った「46ジンジャエール」が、「2011かごしまの新特産品コンクール」で、特産品協会理事長賞を受賞しました。ここでは、「46ジンジャエール」の開発・販売に取り組む富士展覧さんに、お話を伺いました。



フジカンパニースタッフの3名。
左から原田里美さん、富士展覧さん、石元卓也さん。

■「46 (ヨンロク) ジンジャエール」とは、どのような商品ですか?

ヨロン島産の生姜を使った、ジンジャエール。名付けて、「46 (ヨンロク) ジンジャエール」です。「46 (ヨンロク)」はヨロンを表し、ジンジャエールの「エール」は、ジンジャエールを通して、ヨロンにそして日本に「エール (声援)」を届けたいという意味を込めて、命名しました。

■商品開発を手掛けようと思ったきっかけは?

ヨロン出身の父が亡くなって20年以上が経ち、その間ヨロンに来る機会は、ほとんどありませんでした。自分のヨロンの記憶は、今から30年近く前の小学生の時です。その頃は、銀座通りもまだ賑わいがあり、海もカラフルなサンゴで溢れていました。それから数十年が経ち、一昨年久しぶりに結婚記念日でヨロンを訪れ、ヨロンの現状を目にしたとき、少し寂しい気持ちになりました…。そこから、「自分でも何かヨロンのために出来ることはないだろうか」と考えぬいた結果、ヨロンの農作物を使って、加工品を作り、全国で流通させ、まずは全国の人たちにヨロンに目を向けてもらおうと思いました。その第一弾の企画が「46ジンジャエール」です。



「46 GINGER ALE」
甘口と辛口の2種類。
島内外の商店、またインターネットでの販売も行っています。
売り上げの一部を、ヨロン島サンゴ礁基金へ寄付するなど、商品を通じて島の活性化を目指しています。

■作ってみて、何か手ごたえはありましたか?

10月に行われた「2011かごしまの新特産品コンクール」で「特産品協会理事長賞」を頂くことができました。商品ができてまだ半年しか経っていませんし、手ごたえはまだありませんが、県や市、パイヤーの方々に、一定の評価を頂けたことは自信になりました。

■今後どのような事業展開を考えていますか?

これは、企業秘密です (笑)
ただ、全国の方々に商品等を通してヨロンに目を向けて頂く「企画」・「仕掛け」が来年早々スタートします! 楽しみにしていて下さい。

■町民の皆様へ、ひとことお願いします。

昨年、ジンジャエールを作るともまだ何も決まらなかった段階から、ヨロンの皆様には、いろいろと本当に助けて頂きました。そしてヨロンにいて、亡くなった父がいつもそばにいて、背中を押してくれ、助けてくれる気がします。ジンジャエールができて、いろんな方から「ヨロンのためにありがとうね。」というお言葉をたくさん頂きました。まだ何の実績も無い会社ですが、父とヨロンの皆様の力をお借りして、これから少しずつでも前に進めたらと思っています。応援よろしくお願いします!

合同会社フジカンパニー

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花 15-1
TEL/FAX 0997-97-5055
E-MAIL info@llc-fuji.com
WEB http://llc-fuji.com/



千葉勝弘氏による、力強い津軽三味線の演奏。

各地の民踊を披露し、民踊と島唄へのいざない
11月11日 砂美地来館にて開催
日本民踊研究会・豊定会による民踊公演が開催されました。豊定会は、愛知県に拠点を置き、様々なイベントで活躍されており、今回の公演では、総勢40名で各地の民踊を披露しました。また、郷土民謡全国大会で日本一となった千葉勝弘氏が出演し、力強い津軽三味線と津軽手踊りを披露しました。



世界の第一線で活躍している那間出身の町英和さん。

島人旅人と論島の会主催による、「与論ゆがぼう音楽祭2011」が開催されました。音楽祭には、沖縄を拠点に活動する沖縄・世界の民謡音楽コーラスグループN・j・a・m・i、与論町那間出身で世界各国の音楽祭やコンサートで活躍されている町英和さんが出演。会場に集まった観客は、本物のコーラスの美しさ、そして迫力ある演出に触れ、音楽祭は大盛況のうちに幕を閉じました。



与論町女性防火クラブ発足式にて会員のみなさん。

与論町女性防火クラブが発足

「自分たちの地域は自分たちで守る」
「防火は、まず家庭から」

今年度、与論町地域女性団体連絡協議会では、消防団や消防署と連携をとりながら、住宅用火災警報器の設置推進や高齢者の見守り活動を行いました。住宅用火災警報器にあつては設置率97%を達成することができました。

今後、防災訓練、消防出初式をはじめ、地域行事へ参加することで、防火クラブのPRを行い、活動の開拓工夫を行っていきます。関係機関および、町民の皆様のご協力をお願いいたします。

このような活動の中で、家族や地域の絆の大切さを深く痛感し、現状の確認や、環境改善の速度を早めることを目指し、平成23年5月31日に与論町女性防火クラブが結成されました。

「自分たちの地域は自分たちで守る」の精神のもと「防火は、まず家庭から」を合言葉に火災予防の普及、地域の防火、防災のため貢献し、安全な地域社会実現に努めていきます。

これまでに3回の救命講習会を実施し、全女性防火クラブ員450名中100名が救命講習会を受講しました。